

平成21年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野(建築物外皮による空調負荷低減等技術)運営全般に関する意見募集に対する回答について

大阪府環境農林水産総合研究所

【調査の概要】

- 実施期間 平成21年10月1日～6日
- 対象者数 ① 20年度開発者:7、② 21年度申請者:5 合計12社
- 回答者数 ① 20年度開発者:2、② 21年度申請者:3 合計 5社

設問事項	回答内容
<p>【設問2】</p> <p>申請した目的・理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆公的な評価を得るため ◆屋根用日除けシートは、各社商品のある中でどの程度のレベルにあるか確認したかった。 ◆高反射瓦は新しい工法で性能的にまだ実証されていない為。今回の申請により、よりの確なデータや具体的な数値が得られ、また、このデータを参考に次回の開発にも繋げられる為。 ◆地球環境改善に寄与する技術を広く普及させる為
<p>【設問3】</p> <p>事業の成果(ロゴマーク・データ等)の活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆高日射反射率防水シートがグリーン購入制度に採用されるための基礎資料 ◆性能が認知され、広く国内外への普及と地球環境改善に寄与し、国の目標(CO2削減)に役立つと思う。 ◆今後の温暖化防止、環境への影響を考えた商品PRをしていきたい。 ◆実証された数値とロゴマークでヒートアイランド抑止効果等、地球環境に貢献できる環境対応製品としてカタログや展示会にてPRを行う。
<p>【設問4】</p> <p>事業の実施行程・諸手続き・費用について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆諸手続きは難解な部分もなくスムーズに行えた。 ◆費用は高額ではあるが妥当な費用と思われる。ただ、環境貢献度を数値化する事業であり、大きなCO2削減を謳われている現況から、費用負担や補助金制度もあってもよいのではないか。

設問事項	回答内容
<p>【設問5】 実証要領・項目等の技術的事項についての意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当社製品は白色しかいないため、灰色に調合した実証は不要。各社の白色高反射塗料の中でも当社製品が一番効果があると信じる。まず白色で実証し、差の無い商品のみ灰色で実証する等の方法を採用すればよいのでは。 ◆ 暴露期間4ヶ月では短すぎると思う。最低でも1年半は必要と考える。 ◆ 標準モデルに基づいた数値計算での実証については、低減効果等が各項目ごとに明確に算出されるようになっており、非常に解り易いと思った。
<p>【設問6】 本事業に期待・要望・改善すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ これからも公的機関が民間の展示会等にて CO2 削減やヒートアイランド抑止技術を PR していけば、地球環境も良い方向に進んでいくと思う。
<p>【設問7】 新たに展開すべき実証対象技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 屋根外断熱工法：建物上部からの日射量熱や寒気を外部近くでガードし、室内の温度変化を小さく抑え、より快適な居住環境を作ると共に、遮熱効果や省エネルギー効果を高め、冷暖房負荷を抑えます。
<p>【設問8】 環境省、実証運営機関、実証機関の公開情報・方法の改善など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公開 HP が少々たどり着きにくい気がする。もう少し簡単にたどり着くよう改善して欲しい。
<p>【設問9】 実証技術が保証・認証等を謳うものでないことを了解しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 了解している :5 ◆ 認識していなかった:0
<p>【設問10】 報告書等の著作権は環境省に帰属することを了解しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 了解している :5 ◆ 認識していなかった:0